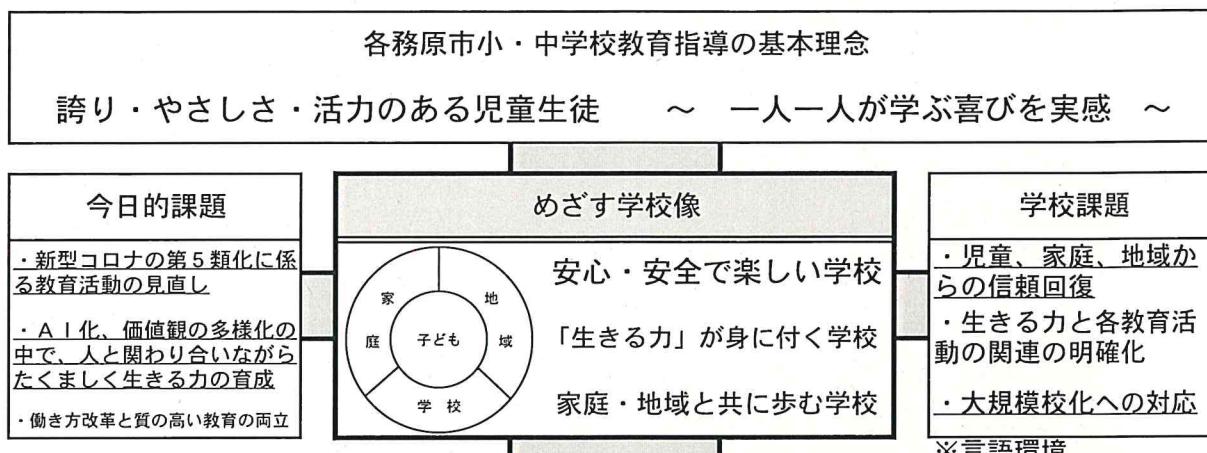


# 令和5年度 各務原市立鵜沼第三小学校 経営構想



**【学校の教育目標】 美しい心で、力いっぱいやりぬく子**

自ら考え、表現する子 自分や仲間を大切にする子 心も体もじょうぶで、たくましい子

- ・美しい心 … 自分の夢や目標、価値のあることにひたむきに頑張ろうとする心。  
人の思いを分かろうとする心。
- ・力いっぱいやりぬく … 今、自分に何ができるかを考え行動すること。

**指導の合い言葉 いつか大人になる子どもたち**  
～人生の主体者として「生きる力」をプレゼント～

○美しい心で頑張る子を、全力で応援。頑張ろうとする仲間の足を引っ張る言葉や行動には、職員全員で改善を求める。困ったことが起きたら、相談しやすい職員に、ぜひ話を。その日から解決に向かって動き出す。  
○生きる力…自分事として捉える力、自分で決める力、じっくり考える力、根拠を明らかにして発信する力、仲間と練り合う力、信じて取り組み続ける力 等

指導の重点	主な具体
・心の居場所のある学級づくり  (いじめを許さない支持的風土の醸成)	・学級目標の具現を核とした学級経営（学年経営）の推進  ・自治の基礎を育む「児童会・委員会活動」、仲間を広げる「なかよし活動」、ねらいのもと感動体験のある学校行事
・豊かな心を育てる道徳の授業  (生命尊重と共生社会の実現を目指す心の重視)	・コミュニティスクールを生かした「挨拶」「会釈」の向上  ・ボランティア手帳等を活用した「だいじょうぶ感」の醸成
・「生きる力」の素地を培う学習活動  (学びを将来に生かす)	・教科担任制と授業改善の推進  ・自主学習の推進、家庭学習の見直し

**【1年間の学校生活における児童の育ちのイメージ】**

自信と感謝と決意  
学ぶ楽しさ、力を合わせることのよさ、自分の頑張りの実感  
学校・学級への安心感

**基盤となるもの**

・日常の危機管理（安全、健康、施設等） ・職員の情報共有 ・組織による対応 ・職員研修

・児童が相談できる複数の職員 ・SOSの出し方教育 ・挨拶（会釈）と掃除の取組

・家庭との連携の強化（連絡帳より…） ・家庭が学校に相談できる窓口の明確化 ・一元化された情報提供